

平成27年度東北地域災害科学研究集会に参加しました(2016/1/8-9)

テーマ：自然災害

場所：杉妻会館（福島県福島市）

1月8日(金)～9日(土)の2日間、杉妻会館（福島県福島市）において自然災害研究協議会東北地区部会・日本自然災害学会東北支部が主催する『平成27年度東北地域災害科学研究集会』が開催され70名以上が参加、60題の研究発表(口頭)が行われました(うち災害科学国際研究所関係者による発表は21題)。本研究集会は、自然災害に関する情報を発信、共有化し、また研究成果を発表する学会で、当研究所の日野亮太教授(災害理学研究部門)が、平成26年度・27年度東北地区部会幹事長を務めています。当研究所からは、災害リスク研究部門の大野晋准教授、呉修一助教、王欣助教、保田真理助手、武田百合子特別教育研究教員、災害理学研究部門の日野亮太教授、情報管理・社会連携部門の佐藤健教授、柴山明寛准教授、佐藤翔輔助教、寄附研究部門の山下啓助教が研究発表を行いました。1日目には、公開シンポジウム『地球・社会環境遷移影響下での災害を考える -災害に対してどのように適応していくか-』も開催され、パシフィックコンサルタンツ 梶井公美子氏より「気候変動の影響への適応について」、福島大学 長橋良隆教授より「噴火現象を理解して災害に備える：吾妻山の場合」、福島大学・環境放射能研究所 難波謙二教授より「福島の環境放射能」と題して講演が行われました。講演後には、秋元正國氏(双葉地方広域市町村会理事)によるコーディネートののもと、登壇者によるパネルディスカッションが行われ、気候変動・地殻変動・放射能等に関する現状や安全・安心の確保のための課題、今後の危機管理対策と将来への知識の伝承の重要性などについて討論されました。また、2日目には、「平成27年度自然災害研究協議会東北地区部会総会および日本自然災害学会東北支部総会」も行われ、今年度の活動報告の他、今後の運営や研究集会の開催方法などについて討議されました。

本研究集会での研究所構成員による発表題目等は、次の通りです：

(著者名は発表者と研究所構成員のみ記載、下線は研究所構成員)

<第一会場>

呉修一：河川水害調査方法の標準化に向けて-家屋被害分類-

今村文彦・岩間俊二：東北地方太平洋沖地震津波についての各種波源モデルの比較-福島第一原子力発電所周辺における検討

日野亮太：海底津波観測と陸上測地観測に基づく津波波源即時予測

山下啓・今村文彦：東日本大震災における宮城県志津川湾の藻場消失に及ぼした津波土砂移動の影響

牧野嶋文泰・今村文彦・安倍祥：ポテンシャル場と Social Force モデルを用いた群衆避難行動の検討

佐藤翔輔・今村文彦：地震津波と大雨にともなう複合災害対応の事例分析-2015年9月チリの地震

にともなう津波と大雨に対する石巻市役所の参与観察-

武田百合子・有働恵子・越村俊一：DSMの自動作成による2011年津波時の沿岸被災把握

森田興輝・有働恵子：日本全国の降水長期変化特性に関する研究

杉井伸之・呉修一・有働恵子：H27年東北豪雨に伴う渋井川の洪水再現計算

<第二会場>

王欣：2014年中国雲南省昭通地震(Ms6.5)における建物被害が龍頭山に集中した下人分析

大野晋・柴山明寛：東北地方太平洋沖地震の仙台市における地震動と建物振動被害率の関係

大賀友貴・源栄正人：遮断振動数を有する水平上下連成波動伝播解析に基づく波打ち現象を伴う地震被害に関する基礎検討

畠山智貴・王欣・大野晋・源栄正人：実存検知の振動特性の長期モニタリング

保田真理・野内類：サイエンスデリバリー+教育ツール活用の効果-減災意識の定着率-

舘林大輔・源栄正人：同化手法を用いたスペクトル情報の即時予測

桜井梨那・佐藤健：大型商業施設における避難者対策の実態把握と考察

鈴木裕陽・佐藤健：首都直下地震を想定した応急仮設住宅の供給能力に関する定量的評価

佐藤健：地域に根差した防災教育のための教材開発-大崎市立岩出山小学校の事例-

木村宇応・佐藤健：東日本大震災における仙台市の避難実態に基づいた避難者発生ポテンシャルの評価

その1：仙台市の町内会住民を対象としたアンケート調査の概要と結果

濱岡恭太・佐藤健：東日本大震災における仙台市の避難実態に基づいた避難者発生ポテンシャルの評価

その2：東日本アンケート結果を利用した避難要因の詳細検討

柴山明寛・ボレー セバスチャン：震災アーカイブを利活用するための権利処理のあり方について

文責：鈴木通江（広報室）

（次頁へつづく）



会場の様子（第1会場）



会場の様子（第2会場）



呉助教



日野教授



山下助教



佐藤翔輔助教



武田特別教育研究教員



王助教



大野准教授



保田助手



佐藤健教授



柴山准教授